

まつりごと 黒岩政通信

「黒岩たかひろ応援団」会報

- 新発田事務所
〒957-0053
新潟県新発田市中心町2-4-21
TEL. 0254-21-0700 FAX. 0254-21-0707
- 村上事務所
〒958-0852
新潟県村上市南町2-5-19
TEL. 0254-50-1755 FAX. 0254-50-1756
- 阿賀町事務所
〒959-4402
新潟県東蒲原郡阿賀町津川3433
TEL・FAX 0254-92-2550 (兼用)
- 国会事務所
〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1
衆議院第一議員会館820号室
TEL. 03-3508-7493 FAX. 03-3508-3320

E-mail : kuroiwa-16@prontonet.ne.jp
ホームページ: <http://www.t-kuroiwa.jp>
携帯ホームページ



第21号
2020年1月6日発行



9月19日 入党届を枝野代表へ

「立憲民主党」入党 国対委員長代理就任

新年を迎えるに当たり、旧年中の感謝と本年の抱負を述べさせて頂きます。

私は2年前の総選挙以来、分裂した野党をまとめ安倍1強に対峙できる大きな塊を作るべく行動してきた結果、ようやく秋の臨時国会において立憲民主党・国民民主党・無所属議員120人からなる合流会派が結成される事となりました。私はその直前9月の中頃に枝野幸男立憲民主党代表から「会派結成のこの時期に是非とも入党して欲しい」と直接要請を受け、決断した次第です。

入党したその日に国対委員長に就任した安住淳さんから国対委員長代理に指名を受けました。国対とは「国会対策」の略称で正に国会運営の司令塔です。予算委員会のメンバーの人選やどの委員会をいつ開催するか、法案の賛否をどうするかなど野党の方針を決定し、更に与党と交渉する最前線に立つのです。

国会は二大臣が政治とカネの問題で辞任。追い打ちをかけるように「桜を見る会」が大問題となりました。いずれも安倍政権の長期化が生んだ驕りと緩みの象徴です。安倍政権は既に自壊を始めました。この長期政権を打倒するのは今です。

今年は年明けから「桜を見る会」問題が更に大きく裂けます。野党合流も実現しているでしょう(執筆時は現在進行中)。年内総選挙は必至との見方も大勢を占めます。大きな政治決戦の年となる事は間違いないありません。今年も大暴れして参ります。

衆議院議員
黒岩宇洋
たかひろ





季節外れの桜舞う



内閣府の大型シュレッダーで名簿に見立てた紙束を裁断

季節外れの桜が国会に舞い降りたのは11月8日。参院予算委員会での野党議員による「桜を見る会」疑惑質問でした。疑惑の内容は「桜を見る会」の費用が安倍政権になり約2倍、しかも元々の予算額の3倍にもなり、参加者数は1万2千人から1万8千人超になっているという異常な事実。更に、850人を超す安倍晋三後援会員がバスで会場に乗り付け、前夜祭ではホテルニューオータニで会費5000円で飲食をしているのではないかという疑惑でした。上記の疑惑が事実なら総理による会の私物化、税金の無駄遣いのみならず、総理自身の公選法違反(買収)、政治資金規正法違反に当たりスキャンダルなどという甘いものではなく政権の根幹を揺るがす深刻な問題となります。

追及本部結成

参院予算委員会質問の早くも3日後には野党全体から成る追及チームが立ち上がり私が座長に就任致しました。11月12日から連日役所からのヒアリングを開くと「招待基準はあいまい」「招待者名簿はいつ廃棄したか分からない」など支離滅裂な答弁が噴出。たまり切れず総理は14日には「桜を見る会」中止を発表しました。これで幕引きを狙ったのでしょうかそうは問屋が下ろしません。我々は追及チームを追及本部に格上げし76

人体制の過去最大規模に。私が実質責任者の事務局長に就きました。下関ルート、ホテルルート、ジャパンライフルートなど9班体制を敷き徹底的な調査を開始。下関入りしての現地調査、内閣府でのシュレッダー実演、ニューオータニでの聞き取り、安倍事務所や後援会ツアー代理店に公開質問状提出など世論の関心を高めつつ様々な事実を解明していきました。途中、女優沢尻エリカの薬物逮捕でニュース・ワイドショーが独占されそうになりましたが、そうはさせじとこちらは昭恵夫人も標的に。「エリカ様」より「昭恵様」と何とか視聴者を引き付けるのに成功致しました。



追及本部 ヒアリングの司会

総理主催「桜を」 追及本部

散るまで続くよいつまでも

真相が少しずつ明らかになるにつれ、不明な点も明らかになり、また国会から逃げまくる総理自身にしか答えられない疑問もはっきりしてきました。

簡単に整理しますとまずは招待者名簿の廃棄。紙の名簿は野党議員が資料請求したたまたま1時間後にせっせと大型シュレッダーで廃棄したとの事ですが信じられません。電子データは廃棄すれば当然コンピュータ上に廃棄記録(ログ)が残りますが、内閣府はログがあると認めながらそのログを確認する気はないと答弁。明らかに虚偽です。

次に総被害額2400億円に上るマルチ業者・ジャパンライフ元会長への招待状受付番号「60」。内閣府文書では「60~63番」は「総理・

見る会 追及本部



衆院内閣委員会で菅官房長官に迫る

官房長官などの推薦者」となっており常識的には総理推薦者から60番を付番するはずです。内閣府は当時の付番責任者はだれかは特定しているけれどその人間への聞き取りする気はないとの回答。確かに大マルチ業者が総理推薦なら総理退陣モノです。

最後にホテルニューオータニが前夜祭にて作成している「明細書」。安倍事務所によるとニューオータニに明細書の再発行を要請しても「公開を

前提とする再発行には応じられない」との事。この回答からニューオータニが明細書を作成している事は間違いありません。明細書があれば前夜祭の収支に安倍事務所が関与している事が明らかになり収支報告書不記載が証明されます。

以上の様に総理退陣モノの論点がまだまだ真っ盛り。総理が散るまでこの追及は続きます。安倍総理は年末、年始でほとぼりを冷まそうとの魂胆でしょうが更に世論を喚起して参ります。



国会閉会後も銀座街頭演説

国会外から Q & A

Q 臨時国会は「桜を見る会」など政策以外ばかりでもっと大切な案件を審議するべきでは。

A 「桜を見る会」は政策以外と言うより政策以前の問題です。税金を総理自ら私物化し自らに近い人ばかりに良い思いをさせ、果ては法律違反疑惑まで。この傲慢な政治姿勢を改めなければどの政治課題も真っ当な解決策を描けないと思います。ただ、追及本部の議論と並行しながら、国会では重要法案日米貿易協定の承認やハンセン病補償法改正案など、国民に直接関係する法案の審議もしっかり行いました。

Q 国会を長期欠席しても歳費やボーナスを丸々もらえるなんてどうにかして欲しい。

A 国会法を改正して正当な理由なく国会を欠席している期間はその期間分の歳費カットできる様、制度改正を求めて参ります。

Q バラバラな野党統一にどのような役割をはたしてきたのか。

A 2年前から立憲民主党と希望の党(現国民民主党)の仲たがい状態が始まりましたが、私は無所属という立場だからこそ両党の幹部から若い議員まで交流する事ができました。感情的な対立を収め政策的なすり合わせも進み政党合流に繋がれたと考えています。



<高校時代>
運動会の応援団 (双子の姉 萌実)

黒岩 ヒストリー (第三話)

第3話は高校時代前編をご紹介します。
1982年、県立六日町高校(六高)に入学。
前号で述べましたが、東京の国立高校不合格を経てましたので全くやる気を失せての入学となりました。勉強する気はない、新しい友達になじむ気もない、部活もやる気おこらず、サッカー部に入りましたが5月の大会が終わると即座に帰宅部となりました。

1学期中は他中学から来た生徒とはケンカ。自宅学習時間はゼロとなり中間テストでは現代社会で50点という未体験ゾーンへ。クラス平均が57点だったと記憶していますから既に成績は沈んでしまいました。夏休みの明けの頃には親に高校中退して再受験すると宣言するほどに。さすがに引き止められ、中退は断念致しました。

それでも2学期になるとクラスメートや他校から来たツッパリ連中と仲が良くなってきます。学校帰りにマージャンをしたりパーマ屋に集まったりなど遊びが中心となり部活

は大会前だけ出るという生活が続きました。
高校2年になると我が物顔で高校を闊歩。そんな調子に乗ってる時にやってきたのが9月の修学旅行です。京都・広島巡りでしたが事件が起こったのは京都清水寺。班ごとの自由行動時に六高の生徒二人がたまたま新潟県内から来た修学旅行生5人からカツアゲしたのです。私の班も清水寺がコースに入っていたのですがそんな事実はずい知らず。

しかし、その日の夕食後、各班の班長が一斉に集められ事情を聴かれました。後で分かったのですが教師陣は清水寺をコースに入れていた私の班が、もっと正確に言えば私が犯人と決めつけていたとの事。身に余る期待感です。

後に犯人は分かるのですが、厄介な事に修学旅行中に私を含め一部の生徒は誰が加害者かを知り、若気の仲間意識で学校に対して告げないというかん口令を敷いたので。結果、六高同学年ですら「修学旅行事件」は知っていても誰が犯人かは知らない人も結構いて、後に「犯人黒岩説」がまことしやかに流布されたのです。初出馬の時にこれが最大の話題となり驚きましたが、今でも魚沼界隈では「私」と信じられています。

この様に危うくも楽しい高校生活は折り返しを迎える事となります。

新しいポスターが出来ました!



掲示にご協力いただける方はお近くの事務所までご連絡をお願いいたします。



「黒岩たかひろ応援団」に是非ご入会を!

「黒岩たかひろ応援団」は黒岩たかひろの更なる飛躍を期し、会員一人ひとりがその政治活動をサポートすることを目的としております。皆様から頂いた会費は、会報の発行を含む政治活動に活用させていただいております。

また、応援団ご入会の方には優先的に地域で行われる集会、座談会のご案内をさせていただいております。今後、より充実した活動を行うためにも多くの方のご入会をお待ちしております。

【年会費】 年額 1口 5,000円より

【お振込先】

郵便局 口座番号 00550-4-74787

口座名 「黒岩宇洋と歩む会」

銀行 北越銀行 新発田中央支店

口座番号 (普) 2104899

口座名 「黒岩たかひろと歩む会」

銀行 第四銀行 南新潟支店

口座番号 (普) 1769845

口座名 「黒岩たかひろと歩む会」



会費納入にあたっての 注意事項

1. 外国人からの政治活動に関する寄付を受け取る事はできません。
2. 本人以外の名義または匿名により政治活動に関する寄付をすることはできません。